

「だから、枚方」今年も電車ジャック！

くらわんか花火大会にあわせて子育て世代へ PR

市は、9 月 20 日（日）に淀川河川公園（枚方地区）を中心に開催される「水都くらわんか花火大会」にあわせ、市外から来訪する子育て世代をターゲットにした集中的なプロモーションを行う。

市のシティプロモーションにおけるキャッチフレーズ「だから、枚方」を前面に打ち出し、特に、京阪本線を走る 1 編成の車内広告をフル活用する「ADトレイン」には、宇宙人や UFOなどをあしらった某オカルト情報誌風の奇抜なデザインを使用。市は、従来から市の魅力を紹介するキャラクターとして「新たな定住地を求めて枚方にたどり着いた 5 体の宇宙人」をプロモーション媒体に登場させており、今回の広告ではその世界観と近年幅広い年代に興味関心を抱かれる「オカルト」や「都市伝説」のイメージを融合させたもの。一見すると謎めいたデザインに、交通利便性や子育て環境など枚方が選ばれる理由を盛り込み、「だから、枚方」への興味を引く。

広告の掲出は 9 月 14 日（月）から 20 日（日）まで。「ADトレイン」のほか京阪京橋駅の改札前デジタルサイネージ及び枚方市駅改札内の大型広告で多様なデザインの広告を展開。同時期から Instagram でも広告を配信し、京阪沿線で集中的に枚方の魅力を発信する。

★市のシティプロモーションにおけるキャッチフレーズ「だから、枚方」は、枚方に住む子育て世帯や、子育てを経験した人が感じる枚方の暮らしやすさや好きなどところ、引越しの際に他市と比較してなぜ枚方を選んだのかという市民の声こそが本当の強みであるという考えから生まれた。3 年前から同キャッチフレーズのもとプロモーションを実施しており、枚方に住む人のリアルな声を集め様々な媒体で発信している。

★枚方市は、平成 25 年から令和 7 年の 13 年連続で 20 歳～44 歳の夫婦世帯の転入が転出を上回っているなど、子育て世代に選ばれるまち。

★昨年は枚方エリアに約 22 万人が来訪した「水都くらわんか花火大会」の開催時期を、広く市の魅力を発信する好機と捉えて広告を展開。広告デザインは各駅の媒体ごとに内容を変え、写真で表現する枚方の日常や遊びの景色や、交通利便性や良好な住環境のイメージなど、「だから、枚方」と多くの人が感じる多様な市の魅力を発信する。

<各広告のデザイン等は次頁の表を参照>

★各広告の期間と内容

期間	内容
9月14日(月)～20日(日)	★ADトレイン 中吊広告、ドア横額面 など京阪本線の1編成を丸々ジャック。  ▲掲出される中吊り広告のデザイン  ▲広告が掲出されている車内の様子（昨年度） 宇宙人やUFOなどをあしらった某オカルト情報誌風の奇抜なデザインを使用。市の魅力の紹介文なども「オカルト」風にすることで、京阪電車を利用する人に「読ませる」広告として枚方への関心高める。
	★デジタルサイネージ 京阪京橋駅改札前デジタルサイネージに15秒の動画を掲出。 動画には、令和8年2月に実施した「一緒につくろう！市公式フォトムービープロジェクト」で、市民などから寄せられた約200枚の写真を活用する。 子どもが遊ぶ姿や家族で過ごす様子など、枚方での何気ない日常を切り取った写真を次々と映し出す。日常的な「遊び」や「楽しみ」の多くあるまちである枚方の魅力を、市民の姿を通じて発信する。  ▲広告が掲出されている京橋駅の様子（昨年度） 
	★【初実施】枚方市駅への大型広告 今年度は新たに枚方市駅中央改札口の大型広告にも「だから、枚方」の広告を掲出する。「行ってきます。でもすぐ帰ってきたくなる。」のコピーと市内の景色により、大阪へも京都へも約20分というアクセスの良さ、都市にも自然にも近い枚方の住環境をPRする。  ▲掲出される広告のデザイン
12月7日(月)～9月8日(火)	Instagram広告 バナー広告をタップすると、市シティプロモーションサイトへ遷移し、より深く枚方市の子育て情報を入手できる。 

<お問い合わせ>

市長公室 広報プロモーション課

電話：072-841-1258 FAX：072-846-5341